

10 月 13 日：VN 指数は引け間際に回復 (VN-Index +0.27%)

- 米国の CPI データが予想よりも高かったことから世界的に株が売られる中で、VN 指数も下落して取引を開始した。
- もともと悲観的だった投資家はより慎重となり、指数は下げ幅を広げていく展開だった。
- 幅広いセクターが売られていたが、特に金融サービスセクターは大きく売られていた。
- 午後に入っても午前中の動きを引きずっていたが、引け間際に急速に指数は回復し、最終的に指数は上昇して取引を終えた。
- 中小型株を中心に押し目買いも見られ、KDH (+6.84%) や PDR (+6.98%) はストップ高まで上昇していた。
- 192 銘柄が上昇、274 銘柄が下落、変わらずは 82 銘柄と下落銘柄が多かった。
- 流動性はわずかに低下し、売買代金は 13.9 兆ドンだった。

VN30 指数は VJC の上昇によって上向く (VN30 +0.10%)

- 大型株で構成する VN30 指数は 13 銘柄が上昇、16 銘柄が下落、1 銘柄は変わらずだった。
- GVR (+2.64%)、MWG (+2.27%)、SAB (+1.74%)、VJC (+6.24%) といった銘柄が上昇し指数をけん引した。
- 一方、BCM (-1.33%)、CTG (-1.01%)、VHM (-1.37%)、VIB (-1.53%) の下落が相場の重しとなった。

セクター・個別株の動き

- DLG (-6.92%) はストップ安。ジャーライ省裁判所が同社が債務を履行できなかったことで、破産の手続きを開始したことを受けてだった。
- VNZ (-6.93%) が大幅安。同社は知的財産権に関する訴訟に直面している。

- 外国人投資家は 2,760 億ドルの売り越しとなった。昨日に引き続き MWG と HPG が大きく売られていた。一方、DGC は大きく買い越されていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。